

- 2015 年度千葉県支部見学会 -

“朝日プリンテック船橋工場”

11月19日（木）13回目の支部主催見学会で朝日プリンテック船橋工場（朝日新聞京葉版印刷工場）を訪問しました。秋晴れの好天に恵まれた当日、会員19名、一般参加者2名、総勢21名でJR船橋駅前に集合し、そこから乗り合いバスに乗って目的地へ。

到着後まず初めに大会議室に通され、案内係のうら若い女性2名から通信情報手段の発展により紙離れの進む時代になり発行部数減に苦しんでいる中で品質向上とコスト削減に取り組んでいる状況やこの工場における印刷工程のプレゼンテーションを受けた後、二班に分かれて刷版の作成から出荷梱包までの工程の



給紙機



梱包機



制御室

設備を見学しました。刷版を輪転機に取り付ける作業以外は自動運転されています。

主力設備の輪転機では印刷開始時間に合わせてもらっての見学で、毎時49kmの高速で黒、青、赤、黄の4色のインキでカラーの新聞を寸分のズレもなく印刷していく様子を直ぐ目の前で見られました。給紙設備では印刷前の

用紙に手で触れて実際の用紙の強さや硬さなど印刷後の新聞との違いを感じ、一巻3トンもある用紙が自動運搬ロボで運ばれてきて、給紙機に自動装着されて行く様子を見ました。

輪転機で印刷された新聞が乾燥工程なしに自動折り畳み機、裁断機を経て長いコンベアーへ乗って出荷梱包設備へ連続して流れて行きます。出荷梱包設備では仕向け先ごとに部数がカウントされ透明フィルムで包まれてトラックへ積み込まれています。

用紙やインキの製造、専用機械の製作、高速で動く一連の工程を滞りなく制御している自動制御等の様々な高度な技術がこの世界でトップレベルを行く新聞印刷技術を支えていることを改めて実感させられました。

設備見学後の工場長による質疑応答では技術的な質問や工場経営に係る微妙な質問にも嫌な顔をせず丁寧に回答してもらい参加者の満足度も高く充実した見学会でした。



プレゼンテーション



輪転機



用紙運搬ロボ



懇親会

見学会終了後の懇親会は一般参加の2名を含め16名が参加し船橋市内の老舗の日本料理店うなぎの「稲荷屋」で“ウナギぬき”で行いました。簡単な自己紹介や



ら支部の盛り上げやら話が弾む中、大先輩の鈴木さん(22M)の“かくしゃく”とした生活スタイルの紹介に全員から感嘆の声があがり盛り上がっている中で時間となり閉会しました。最後に今回の見学会、懇親会の実現に尽力頂いた増田幹事(49P)に感謝して報告とします。(記 40E、久保田)

